

英米文化学会第 14 回大会・就実大学

2023 年 9 月 2 日(土)

基調講演<16:10~17:40>

児島虎次郎と大原美術館

講演者

松岡 智子(倉敷芸術科学大学)

1. はじめに

- ・児島虎次郎の生涯と画業について

明治 14(1881)年、岡山県川上郡下原村(現 高梁市成羽町)に生まれ、明治 35 年に東京美術学校西洋画科選科に入学。

画家、文化交流者、美術品収集者の側面を持つ。

2. 児島虎次郎の美術品収集活動—西洋美術を中心として

- ・第 1 回フランス、ベルギー留学(明治 41~大正元<1912>年)
- ・第 2 回ヨーロッパ留学(大正 8~10 年)；第 1 回美術品収集活動
- ・第 3 回ヨーロッパ留学(大正 11~12 年)；第 2 回美術品収集活動
- ・恩賜京都博物館で「大原孫三郎氏所蔵・泰西名画展」(昭和 2<1927>年)、東京府美術館で「大原孫三郎氏蒐集・泰西美術展覧会」(昭和 3 年)が開催される。

3. 明治神宮聖徳記念絵画館と児島虎次郎

- ・大正 14 年、「対露宣戦御前会議」制作を決意し、資料収集を開始。
- ・「対露宣戦御前会議」の制作過程
- ・「対露宣戦御前会議」の二人の作者—児島虎次郎と吉田苞

4. おわりに：東洋と西洋の交差

- ・4 回の中国・朝鮮半島旅行(大正 7、10、13、15 年)
- ・エジプト旅行(大正 12 年、帰国途中)
- ・オリエント美術収集

昭和 3 年の東京展では、西洋絵画 70 点に加え、エジプト、メソポタミア、ペルシャ等の陶磁器など古美術品 97 点も一緒に展示された。

- ・無為堂

【概要】

児島虎次郎(1881～1929)は、「日本の印象派」と称された岡山県高梁市出身の洋画家であると同時に1930年、我が国で最初に設立された、西洋の近代絵画を中心とした本格的なコレクションを持つ西洋美術館である、倉敷の大原美術館の創設に尽力したことで知られている。

本講演では、画家、美術品収集者、文化交流者として明治、大正、昭和を全力で駆け抜けた児島虎次郎の画業と共に、フランスとベルギーを中心とした3回のヨーロッパ留学中、大原美術館の基礎的コレクションとなった西洋近代絵画・彫刻ならびにオリエントの美術品を収集した活動の軌跡をたどる。

そして、虎次郎の美術館構想が、同時代のフランスを中心とした西洋の近代美術から出発したのち、ヨーロッパを相対化し文明史的な総合美術館へと発展していったように、彼の目指した芸術も、東洋と西洋が交差する「複眼的視座の具現化」を試みていたことを明らかにするものである。

【主要参考文献】

大原美術館 1991『大原美術館所蔵品目録』

大原美術館 2001『大原美術館紀要』(第1号)

大原美術館 2011『生誕130年 児島虎次郎—あなたを知りたい』

児島直平 1967『児島直平略伝』児島虎次郎伝記編纂室

高梁市成羽美術館 2011『生誕130年記念展 総合デザイナー児島虎次郎 生活の芸術化をめざして』

高梁市成羽美術館 2016『高梁市成羽美術館所蔵品選 児島虎次郎』

高梁市成羽美術館編 児島塊太郎、松岡智子 2019『児島虎次郎と高梁市成羽美術館』(岡山文庫315)

高梁市成羽美術館編 児島塊太郎、松岡智子、澤原一志 2020『児島虎次郎 もうひとつ眼』クレヴィス

高梁市成羽美術館 2022『児島虎次郎 古代エジプト蒐集録』

「没後70年・児島虎次郎展」実行委員会 1999『没後70年・児島虎次郎』

松岡智子、時任英人 1999『児島虎次郎』山陽新聞社

松岡智子 2005『児島虎次郎研究』中央公論美術出版

松岡智子「美術品と作家(児島虎次郎)」2024(刊行予定)『博物館資料論』雄山閣